

平成 30 年 4 月提出

大船渡市議会議長 様

会派名 新政同友会

会派視察報告書

視察先/視察項目

(1) 平成 30 年 3 月 21 日 (水) 東京都杉並区高円寺

大船渡ふるさと交流センター「三陸SUN」の運営状況

(2) 平成 30 年 3 月 21 日 (水) 東京都中央区銀座

いわて銀河プラザ視察

(3) 平成 30 年 3 月 22 日 (木)

築地市場視察

国会議事堂・憲政記念館視察

視察参加者 市議会議員

三浦隆、東堅市、畑中孝博、今野善信 計 4 名

1 大船渡ふるさと交流センター「三陸SUN」

「三陸SUN」は、首都圏在住の大船渡市の出身者や、大船渡に関心のある住民らが、気軽に交流できる場として2017年3月にオープンした。

また、三陸沿岸のアンテナショップとして物産販売やランチ営業も行い、三陸産の「ヒト」「モノ」が融合して、三陸を新たに輝かせることを目的に観光情報や移住情報も発信している。

事業は、「株式会社地域活性化総合研究所」（代表取締役 新沼謙治氏）が大船渡市の委託を受け運営されている。

（住所）

東京都杉並区高円寺南

4-32-5 中屋ビル1F

JR高円寺駅南口から徒歩
3分ほどのところにある



店では、大船渡市や
三陸沿岸の地場産品が
販売されている



質疑

Q：運営されていて課題はどのようなことか。

A：食材を安く仕入れることで、ランチの原価をできるだけ安く抑えることに努力している。また、三陸産の食材を探して、メーカーの訪問も実施したいと考えている。

Q：移住の話や希望はあるものか。

A：移住の話は結構ある。何件ということではないが、来店者の中ではよく話題になる。実際、今年移住しようと計画している人もいる。

Q：豊島区に「岩手県学生会館」があるが、そちらの学生にも交流センターのPRをしてはどうか。

A：是非お伺いしてPRしたいと思う。



店の奥には飲食スペースがあり
ランチを提供している



2 いわて銀河プラザ

東京銀座にある「いわて銀河プラザ」(岩手県産株式会社東京支店)を視察した。ここでは、県内の工芸品や食品など約 1,800 品を品揃えし販売している。

イベントは毎日のように開催しており、3月21日には花巻市の皆さんが菓子などの展示即売会を開催していた。当日はあいにくの雨で寒い日だったが、客の入りは上々で大変賑わっていた。

岩手の乳製品や食肉、酒、冷凍食品、海産物、菓子、弁当、工芸品や岩谷堂筆筒、書籍、DVDなど幅広い製品が、きちんと棚割し販売されているため、楽しく買い物ができ、岩手の豊かさが感じられる店となっている。

3 築地市場

昭和 10 年 2 月 11 日に業務を開始した。

東京都内 11 カ所ある東京中央卸売市場のうち最も古い歴史を持つ総合市場である。また、取扱額は平成 27 年実績で 5,291 億円と世界最大級で、日本の代表的な卸売市場である。

視察当日は、ターレと呼ばれる小型特殊自動車が、荷物を運搬しながら場内や公道をせわしく行き交い、早朝(6時頃)にもかかわらず多くの外国人観光客で賑わっていた。

今年、豊洲に移転となり、豊洲市場として 10 月 11 日に開場の予定としている。



4 国会議事堂・憲政記念館

東京都千代田区永田町にある国会議事堂と憲政記念館を視察した。

重厚な国会議事堂や憲政の歴史に触れ、民主的な選挙で選ばれた議員により、国の政策を決定する立法機関であることの深い意義を感じることができた。

市民から負託され、市の政策を審議・決議することの重みを深く認識し、これからの議員活動に取り組まなければならないとあらためて自覚したところである。

